



東京YMCA

2009 11 月号

発行所 東京キリスト教青年会 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。



9月23日に実施した「第23回インターナショナル・チャリティーラン」には、企業・団体・ワイズメンズクラブ・学生・スタッフなど60人余の人々が関わった。ランナーとして、運営ボランティアとして、東京YMCAの「障がい児プログラム」を支えようと、参加された皆の心がひとつになった瞬間だ。
チャリティーランは、大会のテーマ「楽しみながらボランティア」が実践され、参加した人を温かく爽快な気持ちにさせてくれるプログラムであり、また得た経験が人々に成長の糧を与えているようでもある。

インターナショナルチャリティーラン 心のたすきつなぎ 笑顔あふれる

参加する。走る。応援する。支援する。楽しむ。

社会の関心が支援に繋がる

三菱商事株式会社

社会貢献チームリーダー 小谷野由紀

三菱商事株式会社は、社として参りたいと考えております。また、多くの方々が大いに支援すること、社会的関心が高まることこそが支えたいと考えております。

仲間との一体感で支援実感

ジョンソンコントロールズ株式会社

田中裕久

当社でも毎秋の恒例行事として浸透してきました。今年も3チーム、ボランティア16人の総勢34人が参加しました。私自身は今回が初めての参加で、前日準備と当日のボランティア、ランナーと奔走させていただきました。



参加することに意義を感じた

江東YMCA幼稚園保護者

滝 純子

絶対のマラソン日和とならぬ、私にとつて、15キロ走りきることが、昨年参加した友人に練習を頼み、ランナーである私に練習に参加したという経験が、私に大きな支えとなりました。

協賛の助成、ランナーやボランティアとして参加

「第23回東京YMCAインターナショナルチャリティーラン」では、社員がランナーとして91人、ボランティアスタッフとして6人の合計97人が大会に参加しました。また大会に向けてオリジナルTシャツを制作・寄附し、社員が会場でのTシャツの販売もしました。

大会終了後は社員も大会の運営スタッフの皆さんと

共に、テントの解体など、後片付け作業を手伝い、大会運営のサポートに携わりました。

協賛の助成、ランナーやボランティアとして参加

「第23回東京YMCAインターナショナルチャリティーラン」では、社員がランナーとして91人、ボランティアスタッフとして6人の合計97人が大会に参加しました。また大会に向けてオリジナルTシャツを制作・寄附し、社員が会場でのTシャツの販売もしました。

大会終了後は社員も大会の運営スタッフの皆さんと

共に、テントの解体など、後片付け作業を手伝い、大会運営のサポートに携わりました。

協賛の助成、ランナーやボランティアとして参加

「第23回東京YMCAインターナショナルチャリティーラン」では、社員がランナーとして91人、ボランティアスタッフとして6人の合計97人が大会に参加しました。また大会に向けてオリジナルTシャツを制作・寄附し、社員が会場でのTシャツの販売もしました。

「米国の核兵器の存在を全面的に広め、国民からの声で、日本がES-キヤンペーン」に

この議定書の提案国には、広島平和文化センター

すべての人を「こころ」でつなぐ

平和は私たちの周りから

協力の輪が広がりました。

この運動は2008年5月に平和市長会議が発表した核不拡散条約を補完する「ヒロシマの被爆国である日本の役割」をテーマとしたもので、

協力の輪が広がりました。

この運動は2008年5月に平和市長会議が発表した核不拡散条約を補完する「ヒロシマの被爆国である日本の役割」をテーマとしたもので、

最近のCSR

企業のあり方や企業と社会の関係について改めて変化を求めているように見える。なかでも企業に求められるステークホルダーとの間で、企業の社会的責任をより広い視点から捉えようとする動きが出てきたことに注目したい。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強し、支えあう地域社会を築きます。